

令和8年度 校長あいさつ

沖縄工業高校のHPをご覧ください、ありがとうございます。

本校は、明治35年(1902年)、首里区徒弟学校として開校しております。その後、沖縄県立工業徒弟学校、沖縄県立工業学校に改称し、戦後、琉球民政府立工業高等学校として再出発し、琉球政府立沖縄工業高校、沖縄県立沖縄工業高等学校と改称し現在に至り、今年で124年を迎える県内有数の歴史と伝統を誇る学校です。これまでに3万1千名を超える卒業生を輩出しており、県内外はもとより国外においても産業界をはじめ政治・文化等の様々な分野で活躍されています。



現代は、テクノロジーの進化により、私たちを取り巻く環境が一層複雑化し、将来の予測が困難な状況にあることから、「VUCA(変動性・不確実性・複雑性・曖昧性)」の時代と呼ばれています。このような急激に変化する社会に対応できる人材を育成するために、本校では「実学(ものづくり)=人づくり」を教育の中心に据え、校訓である「誠実」「勤勉」「忍耐」の精神のもと、社会の変化に柔軟に対応できる人材、グローバル(グローバル+ローカル)な視点で、世界基準で物事を考え、かつ地域社会に目を向けられる人材の育成を目指しています。

現在、「電子機械科」「情報電子科」「建築科」「土木科」「工業化学科」「生活情報科」の6科を設置し、各科で特色ある取組を行っています。県内外85校の中学校から進学した918名が在籍し、授業や資格取得、ものづくりコンテスト、部活動に積極的・意欲的に挑戦し大きな成果を上げております。

令和7年度『進路実績』は、進路決定率97.9%〔就職決定率100.0%(163名)、進学決定率100%(121名)〕であり、県内外の優良企業に就職し、進学では国公立大含め多くの大学・専門学校等に合格し、夢を実現しています。

『資格取得』においては、「公害防止管理者水質関係4種」や「応用情報技術者」「2級機械検査技能士」「2級建築施工管理技士補」「2級土木施工管理技術士補」などの難関資格の取得を含め、多くの生徒が資格等に挑戦し成果を上げており、昨年度は124の国家資格・検定に延べ1,430名が合格を果たしています。

『部活動・コンテスト等』の近年の活躍では、選抜高校野球大会21世紀枠沖縄県推薦の他、自転車、ボウリング、弓道、ウエイトリフティング部の各種大会における個人・団体の優勝や、スターリングテクノラリー全国大会MAクラス優勝、若年者ものづくり競技大会メカトロニクス職種銅賞、写真甲子園全国大会準優勝、福沢諭吉記念全国高等学校弁論大会優秀賞、県高等学校ロボット競技大会ロボット相撲優勝など、体育系・文化系共に輝かしい実績をあげています。

今後も産業界・地域・PTA・家庭・同窓会・後援会等と連携協力し、地域から愛され支持される学校を目指し、全職員一丸となって取り組んで参ります。引き続き、本校の教育活動へのご理解とご協力をお願い申し上げます。